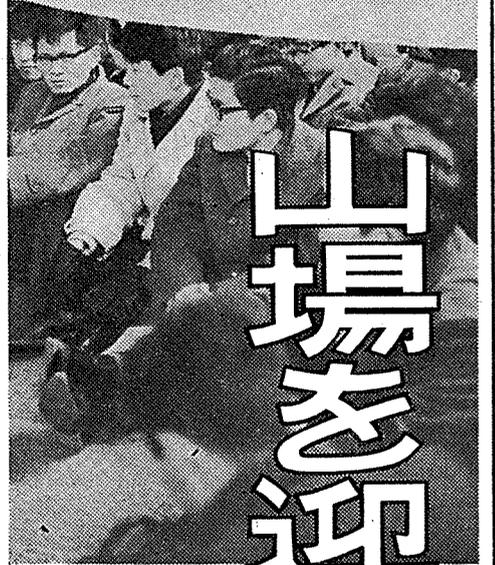


インターン問題

関係者の
反対を無
視、強気
の政府

医師法改悪反対



山場を迎えた斗争

インターン問題の山場を迎えている。厚生省は去る一月二十五日「近期中に自民党社会部会インターン問題小委員会に医師法改正案を提案し、さらに三月九日の閣議を経て国会に上程を行う。ただし、国会に上程前に行われる会議は全て事務手続で上程は確実に今国会に行われる」と言明した。一方、国会に上程を阻止、あくまで正式医師免許を要求する学生側は願書提出拒否の戦術を三月三十一日の最終提出期を境として続けている。厚生省と鋭く対立している。

今国会に呈を狙う厚生省 学生側 願書 四月突破で対決

四回学術会議、全国大学病 願書提出拒否に対し警告を発する。移された。そして三月七日の医卒連結準備大会には四三校が参加し、連結準備大会は四三校が参加し、願書拒否体制の維持、規約が決定された。しかし、願書提出拒否、四月突破体制については、また完全に全ての大学で確認されたわけ



二月二十一日開かれた開プロ会議。当日の闘争方針として(一)学四の願書拒否戦術による闘いを社会的にも顕在化し、社会問題化する。厚生省に法案提出の意図を撤回させるために、厚生省に對するすわり込み行動、厚生大臣との会見、要請書の提出(二)きつむは、社会労働委員会に議員を通じて政府を迫る(三)ついでに、学三以下の行動により、学四の願書提出拒否体制をきつむに勇気づけ、結束を固めさせることなどを確認した。そして二月二十六日、約二〇〇名の学生が厚生省内にすわり込み、法案提出撤回を要求するとともに、神田厚生大臣との会見を申し入れ、三月四日、国会で厚相と会見する約束をとりつけることに成功した。この行動は、各大学が試験期、春休み、運動の主体の交替というきつむで困難な状況を克服して、組織されたもので、遠隔地の群馬大学などの活躍が目玉であった。

インターンと本学の闘争点

いま、関東ブロックインターン委員会が単に開プロと接触し、委員会は「仮免」制度をもちこたを保障、という消極的な意味でも自治会の三十九年度前期活動インターン問題解決の方向をめぐり、ひいては、外部との交渉も第二回の討論を経て、他の大んだ医師法一部改正案の国会へ参加できなかった。又他の大方針は、各大学インターン委員会と本質的な問題が学内全体えほとんどの断られた格好にさえ、学とほとんど異なる結論を得た場を阻止するため、数多くの行が、開プロのいろいろな会議、委員会の設置と同時に学内インターンでほとんどの討論されぬまま、医になった。そればかりか、学四の合、他大と協定する中で、ど動を組織し、さらに四月下旬にこの検討事項を自分のクラスに「一」委員会を設置して運動を組織して「一」制禁止、闘争に對する支援は、おろか、「の」ようにして本学の主体性を自分たちは基本的に考えが異なり、押しつけていくべきかというところのだから勝手にやれ、といっ第三回は、再び新入生を迎えて対立感情をさかんにこぼし、討論の前提としてのインターンでいたのは事実であろう。

学内体制の一本化を遅れている討論・行動の組織化

期、春休み、運動の中心をなすを持っていたのに反し、本学に維持したものにしていこうと正式医師免許要求」というスローモーションの卒業生といった幾多の不安は、試験期を目前にひかえてい明らかになった。そして、その形が学四の闘争に際して、学四の専ら表が開プロの会議にでも常にいつか等々、きつむで困難な条件を克服して運動に取りたといえその基礎がほとんどはまがなりにもととのえられ、戦術という当面的な問題に頭を垂れ、聞きおろぐ程度の消極的態度しか問題が山積している。それ故組んでいる中において、本学のなかたといことができない。たが実質的にはその本来の役割を失うという不幸な結果をもたらしてしまつたからこつたにがい経験を生かし、要求される。と同時に学友一人一人から連絡をうけた一部のインターン心の運動に臨み、運動の主体とは「戦術改訂」「阻止をめぐ、その道は誠に向けたい。

新学期に贈る
南山堂の優秀参考書

本邦唯一の医学百科(大改訂10版)

南山堂 医学大辞典 豪華 価六〇〇〇円 縮刷 価三八〇〇円

前東大教授 加藤勝治編 医学英和大辞典 豪華 価五五〇〇円 縮刷 価三五〇〇円

浦久保改訂 仙一和 標準医語辞典 豪華 価四五〇〇円 縮刷 価二〇〇〇円

日本医大教授 金子丑之助著 日本人体解剖学 第3巻 9版 価四〇〇〇円 第2巻 9版 価四〇〇〇円

九州大学教授 必携 解剖学要覽 4版 小型五六八頁 価一三〇〇円

名大名誉教授 戸近大郎著 最新生理学 初版 価二〇〇〇円

本川弘一著 最新医学化学 4版 価五六一二頁 価三四〇〇円

大阪大学教授 山村雄一著 病理学入門 8版 価一三〇〇円

東大名誉教授 緒方知三郎著 病理学総論 3版 価一四〇〇円

東北大学教授 赤崎兼義著 病理学各論 II 価三二〇〇円

赤崎兼義編 病理学各論 I 価三二〇〇円

東京医大教授 原三郎著 薬理学入門 7版 価四七〇〇円

九大名誉教授 戸田忠雄編 戸田新細菌学 8版 価七五〇〇円

北大名誉教授 井上善十郎編 新衛生公衆衛生学 7版 価一九〇〇円

東大名譽教授 沖中重雄改訂 吳建・坂本恒雄著 内科学 上巻 価五〇〇〇円 中巻 価五〇〇〇円 下巻 価五〇〇〇円

大阪大学教授 浦生逸夫著 小児科学 新刊 価四〇〇〇円

立入弘著 放射線医学入門 3版 価五八四四頁 価四四〇〇円

友田正信編 外科科学各論 上巻 価二八〇〇円 中巻 価二八〇〇円 下巻 価三〇〇〇円

神田民和著 神中整形外科学 改版 価一四八四頁 価八八〇〇円

内科学 上巻 価五〇〇〇円 中巻 価五〇〇〇円 下巻 価五〇〇〇円

小児科学 新刊 価四〇〇〇円

放射線医学入門 3版 価五八四四頁 価四四〇〇円

外科科学各論 上巻 価二八〇〇円 中巻 価二八〇〇円 下巻 価三〇〇〇円

神中整形外科学 改版 価一四八四頁 価八八〇〇円

